

※一部非公開

令和四年度入学試験問題（前期日程）

小論文

人文社会学部 琉球アジア文化学科

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は、必ず解答用紙に記入すること。問一は表面、問二は裏面に書くこと。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないように注意すること。
- 四、解答時間は、一二〇分である。
- 五、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

非公開

問題

次の文章を読んで、あとの問題に答えなさい。

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

(福間良明, 『「勤労青年」の教養文化史』, 岩波書店, 二〇二〇年, 二五八〜二七七ページ, 抜粋・一部改変)

問一、「二重傍線部」「人文知を下支えする大衆的な基盤の喪失ということに尽きるだろう」について、なぜ筆者はこのような見解を述べたのか、本文に沿って六〇〇字以内で説明しなさい。

問二、「格差と教養」「実利を超越した教養」「人文社会系の知」の語句を用いて、現代における教養について歴史・民俗・文学・言語のいずれかの側面から、あなたの考えを六〇〇字程度で述べなさい。

令和四年度入学試験問題 (前期日程)

小論文

人文社会学部 琉球アジア文化学科

出題の意図

琉球アジア文化学科は、琉球・沖縄および日本、アジアの諸地域の言語・文学・歴史・民俗への理解を深めることを目指している。したがって、本学科の入学希望者には、これら諸地域の文化への深い関心はもとより、そうした文化を生み出す社会の仕組みへの持続的な探究心が要求される。問題文は、「格差と教養が結びついていた時代」から遠く離れる現代において、今日の「格差と教育」をめぐる議論が結果的に社会における「教養」の存在理由を不問に付すことにつながっていることを論じた文章である。本出題の意図は、問題文における「人文知を下支える大衆的な基盤の喪失」について意味を的確にとらえたいうえで自身の言葉で説明できるかを問うことにある。加えて、本文の内容をふまえた上で、現代の「格差と教養」の問題について論述させ、受験生の理解力および独自の発展的な思考力や論理構成力、言語表現力などをみることにある。